

## 2020年度 島根大学 医学科 英語 解答例

松江予備校

その1

1

1. 笑うのに不適切な状況で笑ってしまうこと。
2. 木版画に描かれている明治維新後の東京。
3. まるで私がおかしい人であるかのように、人々が私を見れば見るほど、事態はより悪化した。
4. おかしなことに、何がそんなに面白いのか知る間もなく、私は腹を抱えて笑っていた。
5. 団体、会社、社会活動、地域そして生産物を表したかわいいキャラクターを作ること。

2

1. 私たちの祖先は他の人と意思疎通を図り、その道具をどのように作り、使うかを相手に教えるための効率的な方法を考え出さねばならなかった。
2. 人類最古の祖先たちが他の人と意思疎通を図る方法は、以前考えられていたものよりもかなり複雑であったということ。
3. 教える人、特に言語を使うことができる人がいれば、私たちの祖先でさえもこの古代の道具の作り方と使い方をより効率的に身に付けることができた。
4. 類似点：リーダーが道具を作る工程を他のメンバーが見ることができる。  
相違点：第2グループではリーダーが道具の作り方を他のメンバーに見せようとしませんが、  
第3グループではリーダーがジェスチャーをせずに作り方を見せることができる。
5. リーダーが道具を作るのを見ているだけのグループよりも、リーダーが身振りあるいは話すことを許されたグループの方が、道具を作ることに成功する割合が非常に高かった。
6. 人類の進化は、環境に適応しながら進化する私たちの祖先についての物語であるだけでなく、実際には人類が自分たちでその環境を作ったという事例なのである。

3

1. 抗生物質により、人命を脅かす危機から一時的な不快感に及ぶ細菌感染の数が減り、皮膚を傷つけるいかなる怪我や手術も二次感染による死という大きな危険を伴う長い時代が終わった。
2. かつて数千もの幼児や幼い子供の命を奪った病気が、一世代のうちに先進国からほとんど消えたという結果。
3. その広く知られた急速な治療効果と明確で重大な欠点の無さが、薬物治療はどれだけひどくてもどんな病気も簡単に治すことができるある種の現代の魔法だ、という考えを促進した。
4. 『ER』や『Outbreak』のように医師が病気の原因を明らかにする所に焦点を当てた物語と、『The Cold Equations』のように薬を患者に届ける所に焦点を当てた物語。
5. (5) because a new drug has freed them from the effects  
(6) urged to ask their doctor whether the drug is right
6. A ウ B オ C エ D イ
7. 薬の効かない細菌や、ワクチンが効かず、絶えず変化し続ける多様なかぜウイルスの進化はもう一つの可能性を示している。とても小さな私たちの敵が私たちを出し抜いているかもしれない。

2020 年度 島根大学 医学科 英語 解答例

松江予備校

その2

4

解答例

Japanese people should begin studying English at school at thirteen. English is just a means of communication. If they have nothing to convey to others, English is useless. Before studying the language, they should learn other subjects deeply at elementary school and take part in volunteer activities out of school, which will broaden their outlook.

(55 語)

5 B

- (1) Likewise, when you try to understand more about the function of the brain, the mechanism which supports it or the process of its development, to know the form of the brain is a key, and sometimes an essential premise.
- (2) There are surprisingly regular structures in several parts of the labyrinth built with unimaginably large numbers of materials. These structures seem to be unexpected smiles of the brain that deprive researchers of their passion.